



共生経済学研究センター 公開シンポジウム

『グローバル資本主義の現在を読む』

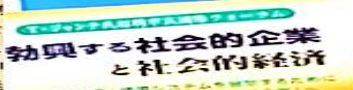
新潟大学 共生経済学 研究センター

共生経済学研究センター
研究センターの紹介
研究会の開催
トピックス



共生経済学を創発する

富裕層と大企業を優遇する新自由主義政策（自由化、規制緩和な政府）の結果、所得・健康・教育格差の拡大、自殺の高止まりなどに象徴されるように、いまの日本では人々の共生さえ不可能になっています。そこに3.11が襲来し、さらには悪化してしまいました。これまでの新自由主義を直ちにすぎない「維新八策」などが今また推進されてもはや取り返しがつかなくなります。むしろ今後目指すのは、内橋克人さんが提唱する「共生経済」の方向性での地域拠点を増やし、強化するだけでなく、これと整合的な共生の仕組みも国内外に創り出していくことが、「共生経済学」とは、その方法を規範的に研究する新



日時：2016年9月2日（金曜日） 15：00～18：00

会場：新潟大学人文社会科学系棟 C-345 室

- シンポジウム趣旨の説明 (15：00-15：10)
菅原陽心（新潟大学経済学部教授）
- 第一報告：「資本主義の歴史的・地域的類型と現代」(15：10-15：40)
山口重克（東京大学名誉教授）
- 第二報告：「グローバル化の進展とこれからの中国」(15：50-16：20)
溝口由己（新潟大学経済学部准教授）
- コメンテーター：柴崎慎也（東京大学大学院博士課程）

主催：新潟大学共生経済学研究センター
後援：新潟大学経済学部
新潟大学大学院現代社会文化研究科

事務局：新潟大学経済学部 巖成男研究室
Tel: 025-262-6511 Email: chn-yan@econ.niigata-u.ac.jp

参加自由